

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公開番号】特開2003-201913(P2003-201913A)

【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)

【出願番号】特願2002-364513(P2002-364513)

【国際特許分類】

F 0 2 K 3/06 (2006.01)

【F I】

F 0 2 K 3/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月13日(2005.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

後部ハンガーは、ケーシングと、ライナ及びフェアリングセグメントとにボルト止めされる。ハンガーと、ライナ及びフェアリングセグメントとの間の周方向位置に配置された、軸方向に延びる接合部が、接合面の方向に沿った相対的な動きを可能にする。前部ハンガーは、ケーシングとライナ及びフェアリングセグメント内のフックにボルト止めされる。前部ハンガーは、軸方向前方に突き出る、周方向に間隔を置いて配置されたタブを有し、これらのタブは、前部ケーシングリング内に切り込まれたスロットを通して配置される。一般的なハンガーは3つのタブを有することができ、Cクリップがタブに圧入され、該Cクリップがハンガーを前部ケーシングリングに固定する。タブの1つは、他の2つよりも軸方向の長さが長く、Cクリップ内のスロットを通して突出し、Cクリップの回転を防止する。タブの全体幅を長くする代わりに、ピンの形態として長さを付加してもよい。

【特許文献1】米国特許第6196792号